

特集 発達援助職を育てる

座談会 発達援助職養成を再考する——臨床教育学の視座——

報告者：柳沢昌一・森谷就慶・鈴木佐喜子 司会：福井雅英 オブザーバー：田中昌弥 6

変化する保育現場と保育者養成、保育者の成長の課題

——日本とニュージーランドの比較を通じて—— 鈴木佐喜子 24

福祉専門職養成に問われていること・挑んでいること

——精神保健福祉士の実習指導を中心に—— 森谷就慶 43

省察的実践者としての教師の協働探究を支える

——学校拠点の専門職学習コミュニティとそれを支える省察的機構への展望—— 柳沢昌一 53

発達援助職養成者を育てる

——武庫川女子大学臨床教育学研究科の20年をふまえて—— 河合優年 67

投稿

【実践研究論文】始業前の「おめざチェック」を契機とした授業に向かう子どもの変化

——子ども自身による生活の見直しと覚醒水準—— 布川明美・村上博文 78

【実践研究論文】思春期の「自己」の育ちを支える中学校教師像を探る

——教え子たちの人生の語りの聴きとりを通して—— 加藤恵美子 90

【論文】〈若者支援〉におけるフリースペース実践

——「居場所」で紡がれる若者たちのストーリー—— 原 未来 110

【論文】「不登校」像の変容過程

——精神科医、フリースクールに関わる人びとを中心に—— 田中佑弥 127

書評

排除しないための排除は存在するか

——排除のナラティブのオルタナティブなストーリーを求めて——

富田充保 訳 パーメラ・マン他 著『学校からの排除にかわる実践的方策を探る

——スコットランドにおける停退学処分に抗する支援的学校づくり』……………川俣智路 146

発達科学・臨床教育と脳科学の接点を求めて

中村俊 著『感情の脳科学——いま、子どもの育ちを考える』……………亀谷和史 151

文献紹介

医療現場の「語り」は臨床教育学の生成に寄与しているということ

『病いの語り 慢性の病いをめぐる臨床人類学』……………氏家靖浩 155

すべての子どもの願いを聴く保育の思想的基盤として

『保育者の地平——私的体験から普遍に向けて』……………塩崎美穂 157

情動という問いへの接近——ヴィゴツキー研究から教育学を問い直す——

『ヴィゴツキーの情動理論の教育学的展開に関する研究』……………影浦紀子 160

海外事情

オランダに端を発しカナダに広がる現象学的教育学の動向……………山内清郎 162

編集後記